

第8回セキュリティ・ミニキャンプ in 山梨 2023開催報告



- 日時○ 2023年9月22日(金)・23日(土)・24日(日)
 - ◆一般講座…9月22日 13:00~17:20
 - ◆専門講座…9月23日 13:00~20:00
 - 9月24日 9:30~16:00
- 会場○ 甲府市 山梨大学甲府キャンパス

一般講座 9月22日 (金) ハイブリット開催

○開会挨拶

国立大学法人山梨大学 学長 中村 和彦氏

○講演①

「先手を打つサイバーセキュリティ！鍵となるのは分散から統合」

トレンドマイクロ株式会社 ビジネスマーケティング本部
デマンドマーケティング部 部長 大田原 忠雄氏



山梨大学中村学長



トレンドマイクロ大田原氏

○講演②

「セキュリティの盲点を特定し、すべてを守る！ ArmisのCAASMソリューションご紹介」

Armis チャネル営業本部 Richard Li (リチャード・リ) 氏



Armis Richard Li氏

○講演③

「サイバーセキュリティお助け隊サービス制度について」

独立行政法人情報処理推進機構 セキュリティセンター
セキュリティ普及啓発・振興部 シニアエキスパート 横山 尚人氏



Deep Instinct 乙部氏

○講演④

コラボセッション「サイバー脅威の進化とAIを活用したサイバーセキュリティ」

米国Deep Instinct アジア太平洋地区セールスエンジニアリング担当
バイスプレジデント 乙部 幸一朗氏
エムオーテックス株式会社 取締役 経営企画本部 本部長 中本 琢也氏



エムオーテックス 中本氏

○講演⑤

「セキュリティ・キャンプ事業について」

一般社団法人セキュリティ・キャンプ協議会 事務局長
株式会社ラック 代表取締役社長 西本 逸郎氏

「セキュリティ・キャンプ紹介」

一般社団法人セキュリティ・キャンプ協議会 企画グループ 下村 そら氏



事務局長 西本氏



企画G 下村氏

専門講座講師



山梨県警察本部 坂本氏



富士通 坂井氏



NTTセキュリティジャパン元田氏



GMOサイバーセキュリティ西谷氏

専門講座

1日目 9月23日 (土)

○講義① 「サイバー犯罪の現状と関連法・情報倫理について」

山梨県警察本部生活安全部サイバー犯罪対策課 坂本 太氏

様々な観点からサイバー犯罪の現状や実態の説明やサイバー犯罪の関連法や情報倫理について説明があった。

○講義② 「独自言語でサウンド・プログラミングとセキュリティ」

富士通株式会社 坂井 弘亮氏

講師が開発した独自言語NLLを使ってピアノやオルガンの音色作りから、その先にあるセキュリティ課題を体験した。

○夜間 宿題、自主学习

夕食後には、参加学生が中心となり1日目の振り返りと2日目の課題を

それぞれ確認、合わせて学生同士のコミュニティの場として活用する時間となった。

2日目 9月24日 (日)

○講義③ 「libFuzzerで始めるファジング入門」

NTTセキュリティ・ジャパン株式会社 元田 匡哉氏

ファジングの基本原理を学び、libFuzzerを用いたハンズオン体験を通じて、

ファジングの技術を学習した。

○講義④ 「ソースコード解析によるWebアプリケーションの脆弱性調査入門」

GMOサイバーセキュリティ by イエラエ株式会社 西谷 完太氏

手動のソースコード解析に加えて、脆弱性の検出を効率的に行う入門的な内容を学習した。



<開催報告>

22日の一般講座では、国立大学法人山梨大学中村学長の開会挨拶に始まり、トレンドマイクロの大田原講師、Armisのリチャード講師、休憩を挟んでIPAの横山講師、エムオーテックスの中本講師、Deep Instinctの乙部講師、最後にセキュリティ・キャンプ協議会の西本講師、下村講師にご講演いただいた。会場とオンラインのデュアルで開催した一般講座の参加者は120名（会場参加者49名、オンライン聴講者71名）。講演内容は、生成AIのサイバーセキュリティから、全資産の監視状況やお助け隊サービス制度、最新のランサムウェアをはじめとするマルウェア脅威などについてお話いただき、参加者は熱心に聴講されていた。

翌23日と24日は、選抜された学生17人と専門講座を開催した。冒頭セキュリティ・キャンプ協議会ステアリングコミティのオープニング後、山梨県警察本部の坂本講師、富士通の坂井講師による講座と、夜間学習では、初日の復習と翌日の講義課題について、学生主体で意見交換会を行い1日目終了。2日目はNTTセキュリティ・ジャパンの元田講師、GMOサイバーセキュリティ by イエラエの西谷講師による講座が午前と午後2時間半ずつ開催された。2日間とも、講師やチューター（セキュリティ・キャンプ経験者）に不明点を積極的に質問し、熱心に取り組んでいる様子が印象的だった。専門講座参加者の内訳は、大学生11名、専門4名、高校1名、中学校1名。

以上、皆様のお力を得て、3日間の開催を無事に終えることができた。

●主催●

一般社団法人セキュリティ・キャンプ協議会、特定非営利活動法人山梨ICT&コンタクト支援センター
独立行政法人情報処理推進機構（IPA）※専門講座、国立大学法人山梨大学

●後援●

経済産業省関東経済産業局、独立行政法人情報処理推進機構（IPA）※一般講座
山梨県、山梨県警察本部、山梨県教育委員会、甲府市、甲府商工会議所
山梨県立大学、山梨学院大学、山梨英和大学、専門学校サンテクノカレッジ
山梨県インターネットプロバイダ連絡協議会、テレビ山梨、山梨放送、
山梨日日新聞社、日本ネットワークサービス、エフエム富士

●協賛●

エムオーテックス(株)、(株)大塚商会、(株)オービックビジネスコンサルタント
(株)シー・シー・ダブル、シスコシステムズ(同)、SB C&S(株)、Dynabook(株)、
ダイワボウ情報システム(株)、ディープインパクト(株)、トレンドマイクロ(株)、
日興通信(株)、日本事務器(株)、日本電気(株)、(株)日本HP、
(株)バッファロー、ピー・シー・エー(株)、(株)フォーラムエイト、
富士通(株)、富士テレコム(株)

